

# ガスエビ

学名：Argis lar (クロザコエビ)・Argis dentata (トゲザコエビ)  
十脚目抱卵亜目コエビ下目エビジャコ上科エビジャコ科クロザコエビ属

の額角は短く、ちよつとしたトゲく  
らしいがありません。

そのため両目が並んで前に飛び出  
して、シヤコのように見えます。

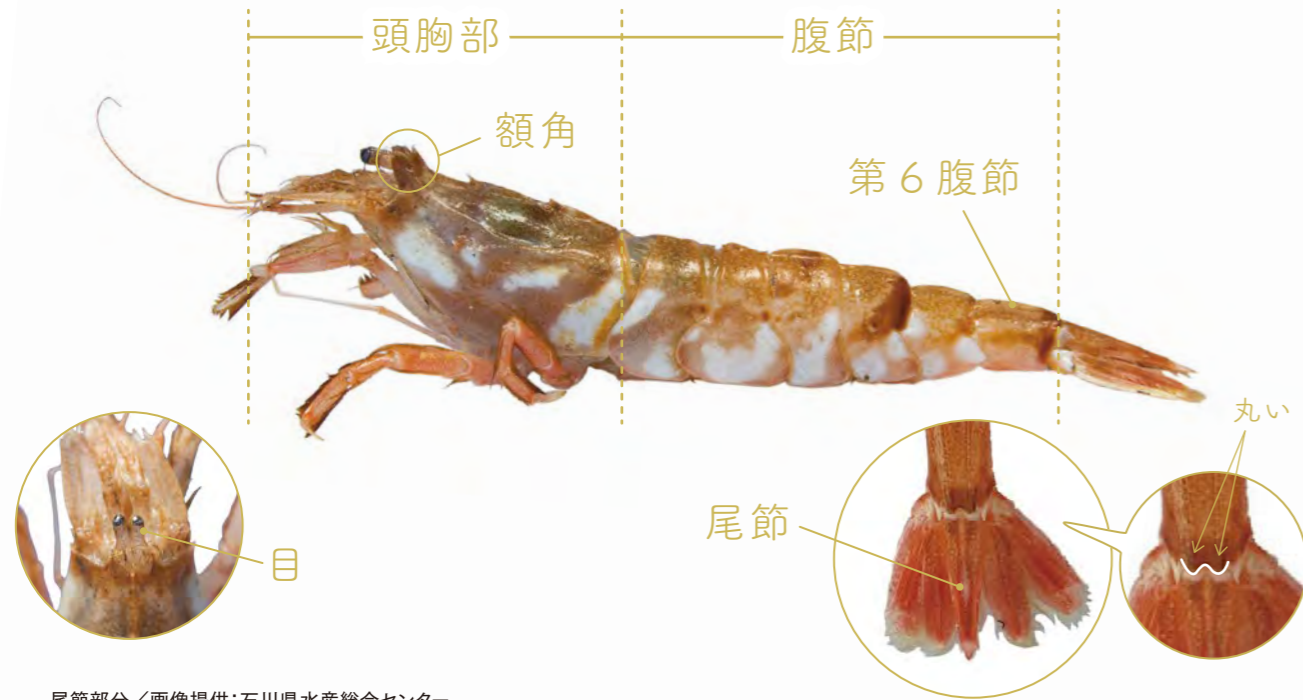
クロザコエビの方がトゲザコエビよ  
り大きくなりますが、はつきりと両  
種を見分けるポイントには腹節<sup>はくせう</sup>。

一番後ろの第6腹節の後端がクロ  
ザコエビは丸いのに対し、トゲザコエ  
ビは尖っています。

また、クロザコエビは腹節に茶色い  
帯のような模様が3本ありますが、  
トゲザコエビにはそれがなく、腹側  
が白く縁取られた腹節と側面に白い  
まだら模様がある頭胸部が特徴で  
す。

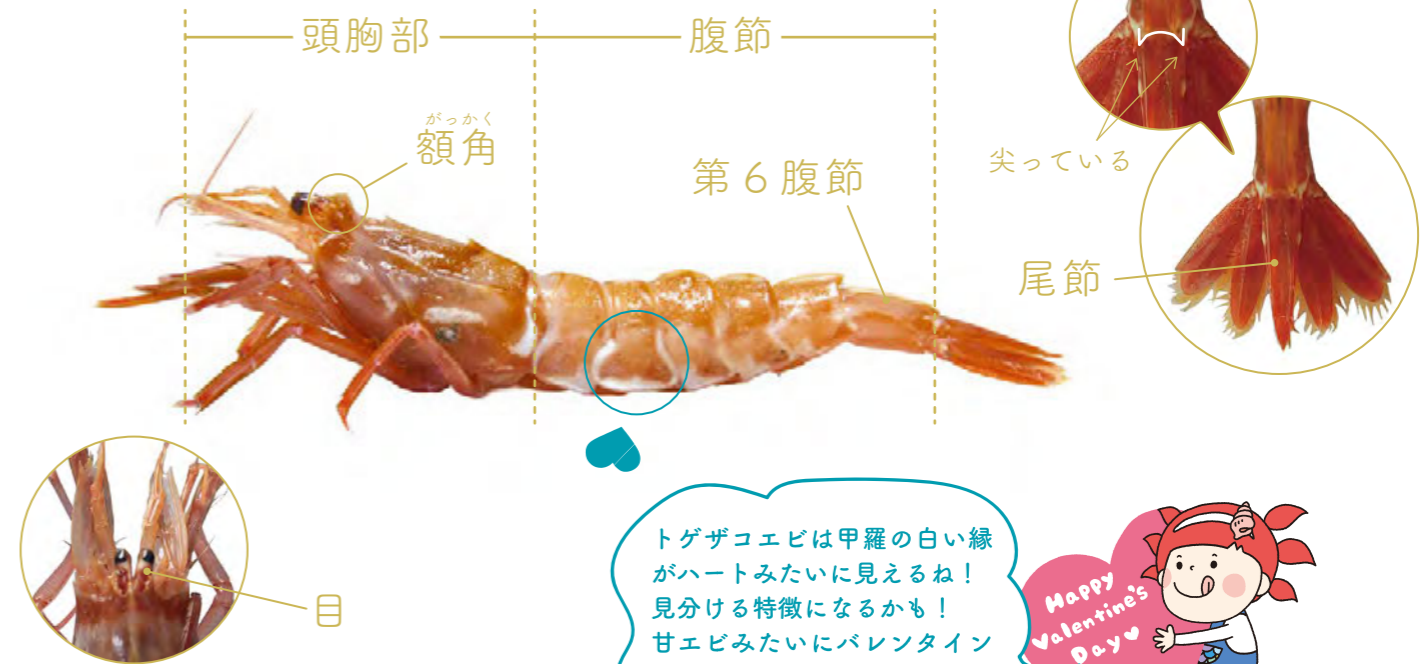
ガサガサして見た目が悪いとは言  
われませんが、子供の頃の私にはガス  
エビがまるで小さい怪獣みたいで、と  
ても素敵に見えたものでした。

## クロザコエビ 日本海に分布

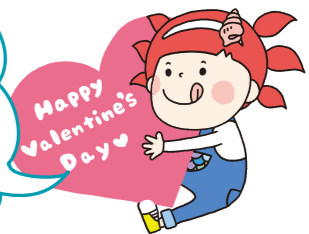


尾節部分/画像提供:石川県水産総合センター

## トゲザコエビ 日本海、オホーツク海、本邦北部太平洋岸、ベーリング海、アラスカ湾などの冷たい海域に広く分布



トゲザコエビは甲羅の白い縁  
がハートみたいに見えるね！  
見分ける特徴になるかも！  
甘エビみたいにバレンタイン  
ギフトにどうやる？



### 生態

深さで棲み分けている

クロザコエビとトゲザコエビは、深  
海に棲むエビで、海底に棲む小さな  
生き物たちやデトリタスを餌にし  
ています。雄は雌よりも小さく、寿命  
やどのように成長するかはまだよく  
わかっていません。産卵時期は1月か  
ら3月頃で、エメラルドグリーンの卵  
を産みます。

似ているエビ達ですが、違うところ  
もあります。

まずクロザコエビですが、日本の周  
辺では日本海から北部太平洋岸、オ  
ホーツク海と寒い海域に広く分布し  
ています。

日本海では水深200〜300m  
の深海、特に水深200〜230mの  
辺りに多く見られます。

ところで、エビの体は曲がっている  
ので頭胸部の甲羅の長さを測るの  
ですが、これを頭胸甲長<sup>しやうきようこうちやう</sup>と言って、エビ  
の大きさを測る基準になっています。

石川県の加賀海域では1月〜3月  
に卵を産むことがわかっていて、卵を  
抱えた雌の頭胸甲長は25〜35mmほ  
ど。15mmくらいの大きさの卵を、およ  
そ1,600個ほど抱えます。

※プランクトンの死骸などの有機物のこと。

### 形態

よく見ると特徴が違う

クロザコエビとトゲザコエビはよく  
似ています。エビの仲間の特徴に、  
頭胸部<sup>しやうきようぶ</sup>から前に出る額角<sup>がつかく</sup>という部位  
があります。

甘エビなどは額角が長く伸びてい  
るのですが、クロザコエビやトゲザコエビ

石川県ではクロザコエビと  
トゲザコエビに加え、少し小さ  
めのヒメクロザコエビ(旧称ホ  
ザワワタリエビ)もまとめて  
「ガスエビ」と呼んでいます。

市場以外では「ジャエビ」と  
呼ばれるフタトゲエビジャコ  
やミノエビジャコなど、見た目  
が似ているエビジャコ科の仲  
間を含めてしまうこともある  
ようです。

かつてはほとんどが自家消  
費されていたのでその辺りの  
区別は曖昧だったのでしよ  
うが、市場に出回るようになつた  
近年はしっかりと分けられて  
います。

2階の展望デッキからは、金沢港を一望することができます。左奥にはちょうど金沢の市場に魚を下ろす漁船が見えています。



海を眺めながら  
食べるデザートは  
最高やね！



2階のレストラン「海の食堂 BAY ARCE(ベイ アルセ)」さんでは、金沢港を眺めながらお食事ができます。



金沢市公共シェアサイクル「まちのり」も完備。電動自転車なので移動も楽々。近隣探索や金沢の街並みを楽しみながらゆったりと中心市街地を目指したり、お散歩の幅が広がりますね。

### 金沢港クルーズターミナル

〒920-0332 石川県金沢市無量寺町リ-65  
TEL : 076-225-7030 / FAX : 076-225-7082  
WEB : <https://www.kanazawa-cruise.jp/>

開館時間  
金沢港クルーズターミナル 9:00 ~ 21:00 入館料 無料  
(金沢まなび体験ルーム 9:00 ~ 17:00) レストラン 10:00 ~ 21:00 (月曜は定休日)

WEBサイト



### さかなざわさちこの金沢散歩 MAP



さかなざわさちこの  
金沢  
さんぽ

# 金沢の 海の玄関口を尋ねる

金沢港クルーズターミナル

古都のイメージで知られる金沢には海の街の顔もあります。北前船の寄港地として古くから栄えた金石・大野地区などには、昔ながらの金沢らしい風情がありますが、そこから東側の金沢港周辺エリアには商業施設や休憩施設が並び、金沢の新スポットとしても賑わいを見せています。

今回は金沢の海の幸のマスコットキャラクター「さかなざわさちこ(さっちゃん)」と共に「金沢港クルーズターミナル」をはじめとする金沢の海にまつわるスポットをご紹介します。

2020年6月1日にオープンした金沢港の新しい海の玄関口「金沢港クルーズターミナル」は、屋根が日本海の白波をイメージしたデザインとなっており、全面ガラス張りのレストランからは海を一望しながら食事ができます。夜には美しいライトアップも施され、いつ訪れても楽しい施設となっています。また2階の「金沢港まなび体験ルーム」では、金沢港近隣のジオラマや学習コーナーなどで海に関する様々な情報を学ぶことができます。また操船シミュレーターでは、船を操縦して金沢港へ着岸する疑似体験ができます。



「まなび体験ルーム」の金沢港周辺ジオラマ(模型)では、動画と模型の点灯で各施設の紹介を学んだり、船が入港する様子をARで体験しながら学習できます。



「まなび体験ルーム」の操船シミュレーター。大きいタイプ(100円)と小さいタイプ(無料)があり、大きいタイプは実際の船のようなパネルビューを体験できます。大きいタイプは終了すると「金沢港航海修了証」がもらえます。



「まなび体験ルーム」入口には、クルーズ船の模型が展示されています。さっちゃんの気になるクルーズ船はどれかな？



ターミナル1階「待合エリア」の支柱には、石川県を代表する伝統工芸のシンボルモニュメントが設置されています。「海」をテーマとした作品で、九谷焼、加賀友禅、輪島塗、山中漆器、金沢漆器の石川を代表する作家(人間国宝や日本芸術院会員)の大作8点、牛首細、加賀織の小品16点と金箔箔で制作された柱です。

海と魚にまつわる  
場所を紹介するよ！

金沢の海の幸マスコットキャラクター「さかなざわさちこ(さっちゃん)」2.5頭身のまるいフォルムと無邪気な動きがとってもキュート。

